

発行・編集／社会福祉法人広島市社会福祉協議会 地域福祉推進課 地域福祉係

〒732-0822 広島市南区松原町5番1号（BIG FRONT ひろしま6階 広島市総合福祉センター内）
TEL：082-264-6403 FAX：082-264-6413 E-mail：chiiki@shakyohiroshima-city.or.jp

今回は、本会の「地域団体連携支援基金 事業費助成金」（以下、事業費助成金）を活用された3地区社協の皆さんから取組についてお話を伺いました！

南区 おおこう 大河



『キッズカフェおおこう』は、小学生を対象に給食のない夏休みと冬休みの長期休暇中に、食事やレクリエーション等をして子ども同士の交流を深めている取組です。

取組は、夏休みと冬休みに各1回ずつ5年間継続して実施する予定です。今回は8月3日（木）に大河公民館で初めて開催した様子取材してきました。

当日は約30名の小学生が参加し、4名の中学生がボランティアでスタッフのお手伝いをされていました。



▲神出会長（前列左から4番目）とスタッフの方々

取組のきっかけは？

大河地区社会福祉協議会の神出会長の民生委員時の実体験から、地域で子どもの孤立を防ぐための活動が必要と考え、子どもも保護者も安心できる居場所づくりに取組みたいと考えていました。この度、地域の団体の協力もあって、取組を始めることができました。

今後に向けて

スタッフの中には、管理栄養士と看護師もいます。今回は食中毒予防の観点からお弁当を配布しましたが、次回は子どもたちと一緒にご飯を作ることができれば良いと思います。まずはこの取組を継続して地域の信頼を得て、いずれは高齢者を交えた三世代交流イベントを開催できたらと考えています。

白島いきいきシール キャンペーン

白島地区社会福祉協議会の佐々木会長、岡本前会長、井上さん、横林さんにお話を伺いました。

白島いきいきシルキャンペンってどんな取組？

白島地区にお住まいの75歳以上を対象に、令和5年8月1日から令和6年2月末までの期間中、地区内の協力店に来店された方へ「いきいきシール」をお渡しします。

シールを集められた方に対し、協力店の商品や白島にちなんだプレゼントと交換（1回限り）する取組です。



▲ノベルティグッズ



▲キャンペーンチラシ

取組のきっかけは？

平成26年11月より地区社協が主体となり「白島気くばりネット運営委員会」を設置し、高齢者地域支え合い事業「白島気くばりネット」として高齢者の見守り活動を実施しています。

コロナ禍で100歳体操やサロンが中止になるなど高齢者の外出や交流機会が減る中、「個々の見守り活動が限界になりつつあるのではないかな」「町内会に加入していない高齢者の方等とどのようにつながっていけばよいか」などについて運営委員会で協議をしました。

その中で、「日々の買い物であれば外出するのではないか」「お店に協力してもらうことで地域の見守りの目を増やすことができるのではないか」という視点から「白島商店会」や地元企業と連携するこの取組を考え、事業費助成金を活用し、シールやノベルティグッズなど準備してきました。

取組を通じて

初めての取組なので、どのくらい反響があるのか想像もつきませんが、目的である高齢者の外出機会や交流機会が増えること、また、新聞折込などを通じて町内会未加入世帯にも広報することで「白島気くばりネット」をはじめ、当地区社協や幟町地域包括支援センターなど、地域の中に相談できる場所があることを知ってもらう機会にもなれればと思っています。

プレゼントと交換いただく際に、アンケートにお困りごとや関心ごとを記載していただき、白島地区にお住まいの方の声を「白島気くばりネット運営委員会」で話し合いながら、今後につなげていければと思っています。

『河内地区 健康づくりウォーキング』

河内地区社協の申斐会長、河内地区町内会連合会の瀬々会長にお話を伺いました。

取組の内容

河内地区には、10を超えるウォーキングコースがあり、各所に案内板が設置されています。

今回、事業費助成金を活用し、令和3年度に河内の魅力を知ってもらうための案内板の新設作業、既に設置している案内板の更新作業を実施し、令和4年6月と令和5年3月の2回、健康づくりウォーキングを実施しました。

案内板の作成・更新にあたっては、先人たちからの情報や過去に発行した福祉だよりを参考にしました。現時点で106箇所に案内板が設置してあります。

健康づくりウォーキング当日は、健康運動指導士によるレクチャーを受け、正しい歩き方でのウォーキングを行い、コース途中に設置されている案内板を用いて、参加者に町内の紹介を行いました。



▲健康運動指導士による準備体操

取組のきっかけ

地区内には、7千から8千年前より人が住み続けてきた証として、縄文時代や弥生時代の土器が出土しており、史跡や遺跡といった歴史的遺産があります。

このような先人たちが残してくれた素晴らしい遺産を見ながら、子どもからお年寄りまで河内の良さを知ってもらい、「河内に住んでよかった」と実感してもらえること、またコミュニティの活性化及び地域住民の健康づくりにつなげることを目指し、取組を実施することにしました。



◀作成した案内板

取組を通じて

ウォーキング当日は、新設した案内板を見ながら、自然豊かな河内で新鮮な空気を吸い、健康に過ごしてもらえたのではないかと感じています。

参加者からも、「いい運動になったため今後も続けてほしい」「河内の歴史を知ることができた」という声が寄せられています。

案内板を設置したことで、ウォーキングに参加していない地域住民にも河内の歴史を知ってもらうことができ、魅力の発信につながると考えています。

今回の取組を行う前から、団体間での連携は取れていましたが、コロナ禍で行事ができないことが続いていた中での実施となったため、不安が多少ありました。

しかし、やると決まれば動いてくれる人が多くおり、同じ目標をもった人同士の団結力を再確認でき、「地域組織はまだ捨てたものじゃない」と感じることができました。

今後も、ウォーキングイベントの継続を考えています。



▲小雨が降っていましたが、予定通りウォーキングが開催できました

地域団体連携支援基金（事業費助成金）について

趣旨 広島市からの出捐金を原資として令和3年度に広島市社協が新たに設置した「地域団体連携支援基金」を活用し、地（学）区社会福祉協議会と各種団体が連携した地域課題の解決（地域コミュニティの活性化を含む）に向けた取組を支援（助成）します。

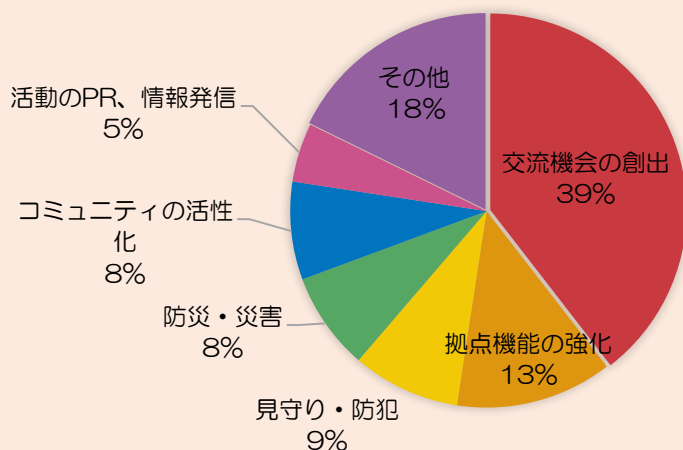
助成金額（限度額） 50万円（1地区社協当たり）

助成金交付対象団体 地（学）区社会福祉協議会

内容 地区社協と町内会・自治会等の地域団体が連携して行う取組であって、地域課題の解決や地域コミュニティの活性化に資する取組に要する経費を助成するもの

助成対象期間 令和6年3月31日までに開始する取組が対象

申請期間 令和5年3月1日 ～ 令和5年12月28日まで



これまでの申請件数は
124件!
(R3.10.1～R5.7.31)



今回ご紹介した取組以外にも事業費助成金を活用した素敵な取組がたくさんあります！

～活用した地域の声～

子どもの見守り活動の充実！

子ども見守り隊のベストやグッズを作成しました。この取組をきっかけに地区社協に子ども安全部が発足し、地域内の連携強化に繋がりました。

活動拠点の機能強化で 地域団体の交流機会が増加！

拠点にコピー機やラミネーター等を備えて拠点機能を強化しました。各団体の人たちがコピー機を使用するため、集会所に訪れることで情報交換の機会が生まれました。

申請期限は**令和5年12月28日（木）**までとなっております。
申請をご検討の地（学）区社協は、期限内に申請をお願いします。
助成金に関する相談、申請等については各区社会福祉協議会へお気軽にお問合せください。

「地域推しんぶん」は、各地区で実施されている地域福祉を推進する取組を皆様に紹介していきます。
紹介してほしい取組がございましたら082-264-6403（地域福祉係）までご連絡ください。